

## <履 歴 書>

寺崎 武男 東京都港区赤坂表町  
明治 16 年 3 月 30 日生

### 学 歴

明治 35 年 3 月 独乙学協会中学校卒業  
〃 40 年 3 月 東京美術学校洋画本科卒業  
〃 4 月 独伊英仏米へ留学  
ベニス国立高等美術院 (アカデミイ)  
人体、彫刻、建築、版画 4 科卒業、尚  
同市高等装飾工業学校修業、尚フィ  
レンセ、シンニヤにテラコッタ (土焼)  
を学ぶ独乙ベルリンに於て帝室美術  
大学壁画科卒、ベルリン大学に宗教  
哲学及歴史科修業す

### 職 歴

明治 44 年 伊国立ベニス商業大学日本語科教授  
を任せらる 15 年間在職  
大正 7 年 東京女子美術学校洋画科主任 (2 年  
間)  
〃 12 年 明治神宮聖徳絵画館建設委員となる。  
以後精美会研究所を作って絵画、芸  
術史を昭和 23 年まで指導す  
昭和 24 年 千葉県立安房第一高等学校講師を任  
せらる 在職 4 年

### 留 学

3 回在欧米通計 20 年  
其間伊仏ベルギーの画家と新芸術派  
を作りパリに旗挙げせんとして第一  
次欧州戦乱となり果さず (リズム絵  
画の新研究想感を主とするもの)  
昭和 3 年日本画展覧会 (大倉男爵主  
催) の主任となってローマに開催し  
世界的好評を得る

### 研 究

伊太利ルネサンス絵画殊に名画の模  
写をなしつつ其材料描画方法につき  
研究、古テンペラ、フレスコ、フレ  
スコセッコによる壁画、保存方法を  
専修す。ギリシャ、ダルマチヤ、ト  
ルコ、ビサンチン芸術を研究す。芸  
術及文化史、東西文化の交流中央ア  
シャ史、法隆寺壁画の研究、飛鳥朝  
と聖徳太子、切支丹史 (殊に大友、  
伊達の使節) 等の論文をか

### 著 述

渡辺華山 (アルス社)、日本国語 (イ  
タリー文)、日伊会話、美術講座 (ア  
ルス社)、日本文化事情 (イタリア文)

### 画 績

帰朝後文展、帝展無鑑査、同展覧会委員、創作版画  
会、テンペラ画会、壁画会をつくる

個展 東京 (三越 3 回、白木屋 2 回)、神戸大阪 (各  
2 回)、伊太利美術展 (ピオラ氏と共催) 2 回 (三越)  
ベニス市ビエンナーレ国際展 (大作) 「幻想」 入選、  
イタリアー政府より買上げられ同国現代美術館に納め  
られる。此栄を得たるは日本人として唯一人なり。  
イタリアー官展無鑑査、尚ローマ市カンピドリヨ宮に  
て芸術名誉賞を授けらる。米国ニューヨーク市にて  
エッチング展を開く、フキスラを思はせると評さる  
A 明治神宮聖徳絵画館「軍人勅諭下賜」の図を貞明  
皇后よりの御内命にて宮中に於て画く、宮中にて執  
筆なせしは洋画日本画 80 人の選出画家の中小生一  
人のみ此光栄を得たり

B 尚三越の個展イタリアー滞在記念展にて「ベニス」  
の大作を宮内庁に御買上られ大正天皇の御病室に最  
後まで飾られ御崩御後博物館に納められる

C 日本赤十字社より「天幕病院に於ける貞明皇后御  
像」は青山御所に

D 閑院宮殿下の御像は赤坂見付御殿にて殿下御自  
身モデルとなり御庭にて固く光栄を得

E 「広島大本営に於ける明治天皇」も文部省より依  
頼さる、其の他鎌倉八幡宮 6 枚 (大作)、江ノ島弁天  
1 枚 (大作)、官幣大社安房神社 6 枚 (大作)、布良崎  
神社 2 枚 (大作)、相浜神社 2 枚 (大作)、松江熊野  
大社御神 像 1 枚 (大作)、房州白浜町下立松原神社  
に齋部建国史 12 枚、壁画殿を建設、聖徳太子壁画  
(大作)、(世田谷中学)、日本医師会館壁画 4 面、東  
京大学外来新館アーケード天井壁画 2 面、白木屋食  
堂 8 面、仏尊殿 6 枚 (大作) (法隆寺保存)、定胤御  
像壁画 (法隆寺)、聖徳太子伝壁画 (法隆寺)、旧経  
堂を金堂壁画と同様の壁に新たに作り一堂全部の壁  
に画く。目黒碑文谷サレジオ協会聖母御堂面に 28 尺  
15 尺大のフレスコ壁画を画く、広島市設図書館壁画  
3 面、長崎文化会館に大友宗麟遣欧少年使節羅馬及  
ベニス着壁画 2 面、日本に於けるキリシタン文化史  
的絵画 (11 面) 未発表 等を製作す

以上歴史及宗教画の主なる大作品なり

多年の日伊親善の功により伊太利国王及政府よりコ  
ンメンダトオレ、デルラ、コロナナデイタリヤ勲三  
等勲章

カバリエレ、デイ、サンティ、マウルチヨ、デイタリ  
ヤ勲功賞 (準二等) を授与さる

昭和 32 年 3 月